

くらしナビ

—ライフスタイル—

老親の免許返納どうすれば？

高齢者が運転する乗用車による悲惨な交通事故が後を絶たない。親に運



もり・くみこ 1956年札幌市生まれ。北海道大公共政策大学院修了。小説執筆のほか、講演活動に取り組む。2022年から拓殖大北海道短大客員教授。

●事故忘れ「新車を」

早くに妻、つまり森さんの母を亡くした父は「誰の世話にもなりたくない」と一人暮らしを続けてきた。自宅は札幌市内でも地下鉄のないエリアにあった。

●約束取り付けられず

今振り返れば、やってあげばよかった。そう思う準備が、森さんにはある。

迎えても免許は更新せずに流した。

●タクシー習慣づけを

19年に東京・池袋で高齢者の運転する車が暴走し、母子2人の命を奪う事故が起きた。森さんは免許の返納について警察署や自動車安全運転センターに相談したが、どの担当者からも「免許を返納しても同じ生活ができるとお父さんに納得してもらわなければなりません。家族でいرونなところに連れて行けますか」と問いかけられたという。

仕事を抱える森さんには即答できなかった。事故の後、車を手放した森さんの父は出無精になり、一時は体重が4kg減った。現在は老人ホームに入居し、体調は回復したというが、森さんは「ここに行くにはこういう手段がある、とシミュレーションしておかなければいけない。慣れていない人にとってはタクシーも使いづらいもの。車や免許を手放す前から、タクシーなどに乗る習慣を家族とともに意識してつけたほうが良い」と提案する。

2021年12月、父は自宅の車庫に入れようとした際にアクセルを踏み誤り、自損事故を起こした。車は走行不能になったが、父のけがは軽く、他の人にけがをさせなかったことが不幸中の幸いだった。

17年の道路交通法改正により、75歳以上の後期高齢者は免許更新時に認知機能の検査が義務づけられた。しかし、対策本が売り出され、過去問も出回っている。

「ドライブシエア、オンデマンドタクシーなど臨機応変に使える交通手段を自治体主導でサポートする必要がある。実現のハードルは高いが、このままでは手遅れになる」と訴える。【大谷津統一、写真も】

「どうも不合格になりますように」という森さんの願いもむなし、父はインターネットで過去問を見つけて対策し、すんなりパスしてきた。そして、車を手放してから

「どうも不合格になりますように」という森さんの願いもむなし、父はインターネットで過去問を見つけて対策し、すんなりパスしてきた。そして、車を手放してから

折れた障子の棧

いつもは四角い部屋にまーく掃除機をかける私も、たまにはハタキをかけ棧をふくことがある。その棧には古い傷が残っている。

60年以上前のことだったと思う。茶の間でだんらん中に突然、父が湯飲み茶碗を障子目掛けて投げつけ、棧に見事命中した。そのときの話題は何だったのか。たわいもない話でも、相手への気遣いを忘れるうちにエスカレートしていったのだろうか。

女の気持ち

2024.8.2

投げて壊したのは父なのに、黙々と折れた棧を木綿糸でくくりつけ、割れた茶碗を片づけたのは母だった。子ども心に「理不尽だなあ」と思ったものだ。と同時に、的が母でなくてよかったとも思った。

父を介護中「言うこと聞いてくれない。母さん怒っていなくなったらどうするの」と話すと、一言「困る」。母にお迎えが近づいたころ「一番楽しかったのはいつ？」と聞くと「お父ちゃんと北京にいたころ」。戦争直前の、つかの間の平和な新婚時代だと答えた。

宮城県白石市 佐竹クニ子 無職・80歳

人生相談

渡辺えり

田舎に憧れるが不安

就職活動に励む友達も増え、まだ大と思いつつも、どこに就職するか悩んでいます。絶対変わらない気持ちは、地元の場所に行きたいことです。首都小さい町で生まれ育ち、地元は魅力を感じません。今より田舎でのんびり暮らしたいですが、将来に漠然とした不安があります。

(20歳・女)

地方に就職したいというあなたの考えのまま進めていいと思います。情報はインターネットで知ることが出来ますし、野営地元で安く買える食材も多くあります。私の故郷山形は、繊維工場などブランドイタリヤのブランドに輸出している会社がありますし、探せば若者たちの仕事もいろいろ見つかるはずです。

古い町並み、新しく開発された場所ながらの日本の豊かさが感じられる地方、四季折々の自然の美しさは見ているで気持ちが落ち着きます。若い人が一人活に困っていたら、近所の年配の方たちいろいろと面倒を見てくれるはずです。私は東京で暮らして50年ですが、今も1度は山形に帰って介護施設にいる母親見舞いをしています。弟夫婦や親戚、友人たちと会うのが楽しみです。

若い頃は演劇をやるといふ夢のためにせく働き、周りの環境や人の情けをきち感じることができなかったのではないかと反省しているところです。

若い頃からのんびり暮らしたいと考えるのは素晴らしいし、うらやましいあなたの人柄の良さを田舎で発揮していき、周りの自然や人の愛情を大切にしていってほしいと願っています。

(劇作家・椎)

恋愛や子育て、家庭、職場で感じる日常の悩みを渡辺えりさんに相談してみませんか。連絡先を記入してT100-8051(住所不要)毎日新聞「人生相談」係へ。こちらのQRコードからも募集しています。

次回渡辺えりさんは8月23日

ほりえさわこさんの 食卓の一品

シシトウとじゃこの炒め煮

1人前117kcal、塩分1.2g

＜作り方＞

- ①シシトウはヘタを取り、指で縦に切り込みを入れる。
②フライパンにゴマ油を入れて火にかけ、①を炒める。ちりめんじゃことAを加え、炒める。
③汁気がなくなったら、煎りゴマを指でひわりながら加え

常備菜として冷蔵庫で4～5日持ちます。シシトウはピーマンに代えてもOK。その場合は千切りなど食べやすく切ってください。

＜主な材料＞(2人分) シシトウ1パック▽ちりめんじゃこ大さじ3▽ゴマ油・煎りゴマ大さじ1

